

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.185

環境保全課 ☎ (29) 5100

食品ロスについて考えてみましょう

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず、捨てられてしまっている食べ物のことです。

令和2年度には日本全体で約522万トンの食品ロス、そのうち家庭からは約247万トン、国民1人当たりには約247グラム、1日約113グラム（茶碗約1杯分）、年間約41キログラムが発生したと推定されています。

食品ロスを減らすために、次のような取り組みを実践しましょう。

● 飲食店で食事するとき

どうしても食べ切れないときは、お店の人に相談して容器に入れ、持ち帰りましょう。

● 買い物するとき

日頃から買い物の前に、在庫を確認するなどして食材を買い過ぎないように心掛けましょう。すぐに食べる食品については、賞味期限や消費期限の長い食品を選択するのではなく、陳列順に購入しましょう。

● 調理のとき

食材が余ったときには、使い切りレシピを利用してみましょう。

消費者庁では、食材を無駄にしないレシピを料理レシピサイトのクックパッドで『消費者庁のキッチン』として紹介しています。

家庭から発生する食品ロスの削減には、消費者一人一人の行動を少しでも変えることが重要になります。



日常生活のちょっとした配慮で食品ロスを削減しましょう

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎ (31) 5304

環境事業所 ☎ (31) 7710

総合支所

食品トレーのリサイクルはSDGs?

市では家庭から出る使用済みの食品トレーについては、小売店などの回収協力店舗に設置されている回収ボックスに出していただくよう、お願いしています。

これがSDGs（持続可能な開発目標）に貢献することを知っていますか？

回収されたトレーは、製造メーカーなどによって、再び新しい食品トレーに生まれ変わります。

この取り組みにより、新たな石油原料の使用を抑えることができ、CO₂の排出量削減につながります。ごみにしないことで海洋プラスチックごみの削減にもなります。

私たちが生活の中で当たり前に取り組んでいることが、地球環境のために役立っていると考えられるうれしいですね。

ちょっと聞いて



岩国高校の生徒が取り組んでいます

岩国高校では、県の海洋プラスチックごみ問題を考えるSDGsアクションに協力し、海洋ごみの調査や水生生物の生態観察に取り組んでいます。



岩国高校の生徒と共に海洋ごみ削減のため、海岸清掃を行いました